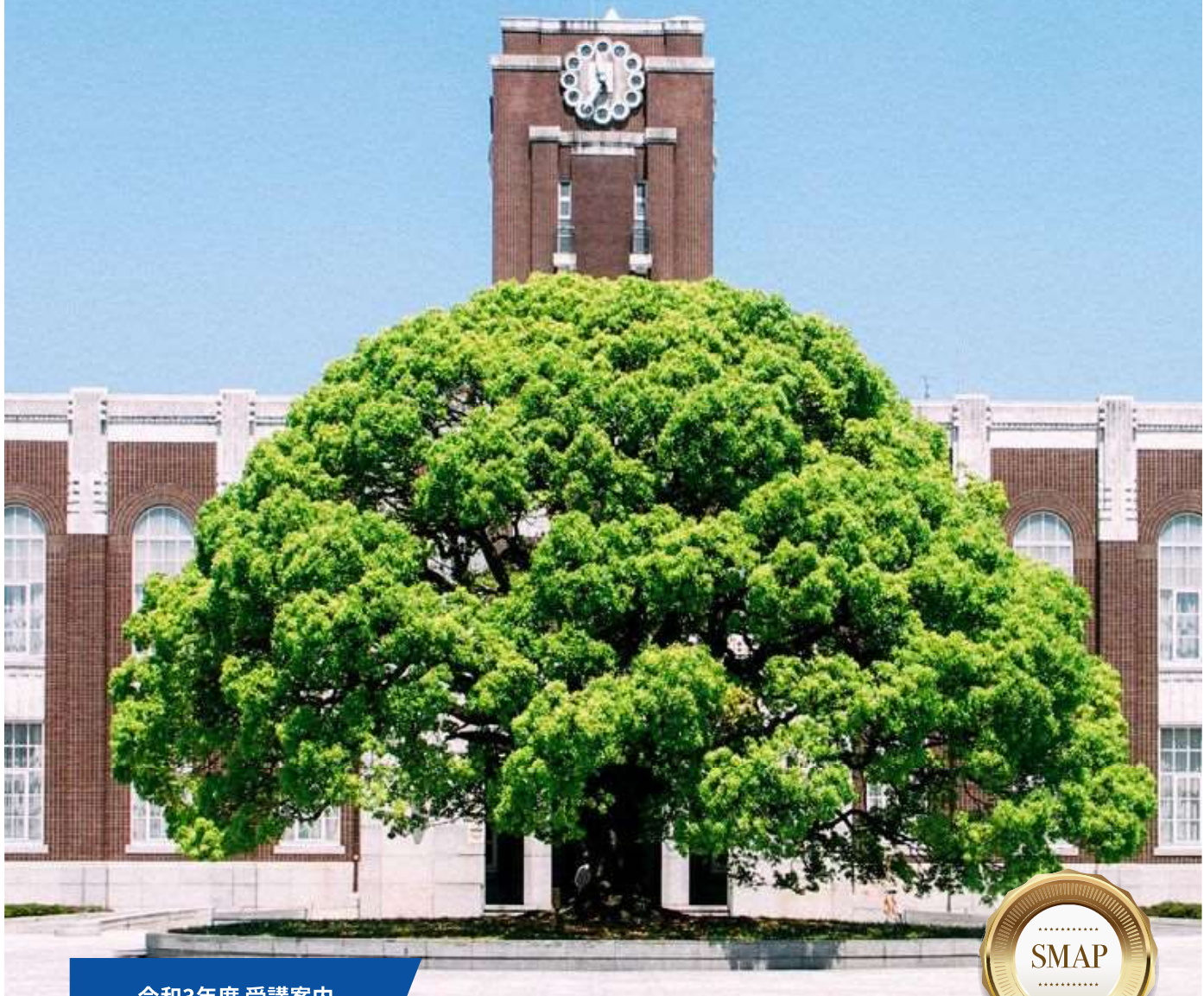


経営を支援する「本物」のプロフェッショナルに、
管理会計の学びから経営会計の実践へ



令和3年度 受講案内



京都大学経営管理大学院・社会人養成講座
京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラム

Kyoto University Graduate School of Management


日本経営会計専門家協会


GSM-KU



京都大学と日本経営会計専門家協会が 協力開発したプログラムを修了すると、 「京都大学経営管理大学院」の 履修証明書を得ることができます。

このプログラムは税理士や会計士、中小企業診断士などの実務経験を持つ専門家を対象として設計されています。激動する今日の社会経済状況の中で、経営者のパートナーとして経営課題の解決に貢献する会計専門家、つまり「経営会計専門家」の養成を目指してこのプログラムは開発されました。「経営会計専門家」は、秀でた財務的知識の持ち主であると共に経営コンサルティングの実践知を併せ持つ新しいプロフェッショナルです。我々実務家は実践的な会計手法は持っていますが、

会計理論を十分に理解していないことから、中小企業の経営者を論理立てて説得できないことがあります。そこでこのプログラムでは「管理会計（経営会計）」の諸研究領域の第一線で活躍する大学教授陣と、それらを実業の現場で実践している実務家講師陣が分担して、理論に裏付けされた講義と実践的なケーススタディーに加え、実際のコンサルティングに必要な知識とスキルの修得を目指した京都大学経営管理大学院のEMBAディプロマプログラムです。

受講生と日本経営会計専門家協会会員事務所からのメッセージ



自分自身がさらに成長できる

このプログラムは、今までの会計業務や経営支援業務で培ってきた経験の上に、質の高いアカデミックな知識が加わり、意識・能力レベルの高い同士達と楽しく、真剣な磨き合いが出来る構成となっています。自分自身の殻を破り、レベルをさらに引き上げてくれるのがこのプログラムです。



会計を理論立てて学べる

我々実務家は、実践的な会計手法は持っていますが、会計理論は十分に勉強していませんから、中小企業の社長を論理立てて説得できません。会計士が管理会計（未来会計）を実務に活かすには理論武装が必要です。EMBAプログラムはそのための最も有効な手段です。



アカデミックな研究の環

学窓での学びは、「日本経営会計専門家研究学会」を通じた、「アカデミックな研究の環」に繋がり、広く経営管理・管理会計の先端研究動向を知り実務に活かす道に繋がります。



共に学んだ卒業生の環

京都大学経営管理大学院ディプロマ(履修証明書)と日本経営会計専門家協会が認定する上級経営会計専門家の称号を得て、各自の事務所の発展に結びつく、「共に学んだ卒業生の環」の繋がりがこれを支えます。



同業有志の環

修了後は、「経営会計専門家協会」と、これに連なる多くの「同業有志の環」に繋がり、「未来会計」を通じた自らの事務所のサービス向上や業容発展の可能性に繋がります。



3つのサークル(環)

上級経営会計専門家資格取得のメリット

Senior Management Accounting Professional

受講生のことは(2期生/岡村税理士事務所 岡村景明氏)

本プログラムに参加して学んだこと

「管理会計とは何なのか」、この問いに対して、このプログラムでの回答を上回る回答を得ることは、おそらく国内においては無理なのではないだろうか。気鋭の学者だけではなく、一流の実務家をも招いた多種多様なプログラムを通じて、私は管理会計の奥深さを学んだ。企業の外部にある社会的ニーズを解決するために、内部にいる社員や外部協力者をどのように結び付け、成果とするか。また、どのように測定するのか。この漠然とした問題を解決するために管理会計は存在する。そして、このプログラムは管理会計というツールの使い方を明確に教えてくれる。

これからの受講生へのメッセージ

私は2期生であるが、同期のメンバーは、北は北海道、南は九州から集った、それぞれの地域の中核を担う会計事務所のオーナーまたはスタッフであり、考え方や問題に臨む姿勢など大いに刺激になった。そのつながりは修了した現在でも継続しており、生涯付き合いのできる友人を持てたことは、同プログラムからの素晴らしい贈り物であったと思っている。今後も、1期生や後輩の方々との交流を通じて研鑽を積んでいきたいと思っているので、お会いできることを楽しみにしている。



座学

I 管理会計の理論と応用

経済社会と会計、組織と会計、ファイナンスと会計、戦略と会計、サービスデザインと会計、パブリックセクターと会計、SDGsと会計等、経営会計に関わる幅広いテーマについて学びます。最新の理論研究に基づいた知識と、事例研究(グループワーク)を通じた実践応用につながる知識を修得します。

II 経営管理の実践知

目標管理、アメルバ経営、バランススト・スコアカード、コーチング、コンサルティング技法など、経営管理の実践理論と応用を実務家・研究者から学びます。未来に向けた企業の価値創造に貢献する「未来会計」の実践知の修得を目指します。

実習

III コンサルティング実習

現実の企業の経営課題解決に向けた経営コンサルティングを体験的に学びます。多様なバックグラウンドを持つ受講生がチームを作り、グループワークを活かして、「未来会計」を実践することで真に経営支援ができるプロとしてのスキルやマインドセットを体得します。

報告会

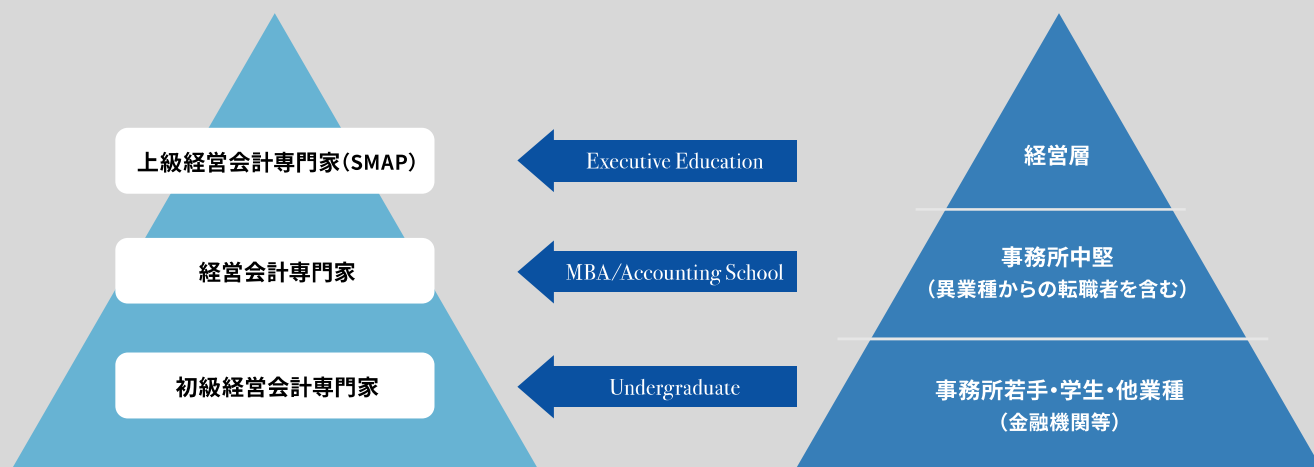
IV グループワークの成果発表と指導

学びの総合成果を発表し、講師陣からの評価コメントを受けることで、経営課題解決の伴走者としての指導能力の向上を目指します。

京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラム履修証明書取得

日本経営会計専門家協会とは—その目的と活動

「日本経営会計専門家協会(JIMAP: Japan Institute of Management Accounting Professional)」は、京都大学経営管理大学院と連携して、日本の経済発展に貢献する経営管理の専門家である会計のプロフェッショナルを育成する活動を支援する目的で結成され、これに全国の協力大学による「日本経営会計専門家研究学会」が加わって、産学協同の特色ある「段階別資格者養成プログラム」の展開を目指している。さらに、経営管理を専門とする会計プロフェッショナルや研究者の相互啓発に向けて、定例の「研究学会」の開催と共に、相互の情報交流の場作りを行っている。



「京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラム」のお申し込み先はこちら

*「令和3年度 京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラムの募集要項等の請求」とお問い合わせ内容にご入力ください

*受領後、受講者出願要項、カリキュラム概要、受講希望票をお送りいたします

開催日程・会場(令和3年)*

日程(令和3年)			テーマ
7月	3日(土)	10:30 - 18:00	経済社会と会計
	4日(日)	9:30 - 17:00	
	17日(土)	10:30 - 18:00	組織と会計
	18日(日)	9:30 - 17:00	
8月	21日(土)	10:30 - 18:00	ファイナンスと会計
	22日(日)	9:30 - 17:00	
9月	11日(土)	10:30 - 18:00	戦略と会計
	12日(日)	9:30 - 17:00	

日程(令和3年)			テーマ
10月	2日(土)	10:30 - 18:00	コーチングと会計
	3日(日)	9:30 - 17:00	コンサルティングと会計①
	23日(土)	10:30 - 18:00	
	24日(日)	9:30 - 17:00	中間報告会
11月	13日(土)	10:30 - 18:00	コンサルティングと会計②
	14日(日)	9:30 - 17:00	
12月	4日(土)	10:30 - 18:00	最終報告会
9月~12月			コンサルティング実習

会場: 京都大学吉田キャンパス ハイブリッド形式(ZOOMを利用)

*日程については新型コロナウイルス感染症対策で変更の可能性があります
*日程・講義名・会場は事情により変更する可能性があります

昨年度の講義内容と担当講師(参考)

7月	開講にあたって(導入講義)	澤邊紀生(京都大学経営管理大学院教授)
	経済社会と会計	同上
	京セラ「アメーバ経営」の実践	藤井敏輝(㈱至高 代表取締役会長)
	組織と会計(理論)	丸田起大(九州大学大学院経済学研究院教授)
	組織と会計(グループワーク)	横田絵里(慶応義塾大学商学部教授)
	「アメーバ経営」サービス業への応用	山田康志(サンフロンティア不動産㈱専務取締役)
8月	ファイナンスと会計(理論)	篠田朝也(北海道大学大学院経済学研究院准教授)
	ファイナンスと会計(応用とワーク)	同上
	企業価値・事業性分析	永井秀哉(京都大学経営管理大学院特命教授)
9月	戦略と会計(理論)	藤野雅史(日本大学経済学部教授)
	戦略と会計(応用とワーク)	同上
	「BSCプログラム」のケースワーク	若山恵佐雄(㈱若山経営代表)
10月	コーチングと会計(実践とワーク)	小屋一雄(ユダ・イモニアジメント㈱代表)
	会計事務所経営とコーチング	吉永茂(京都大学経営管理大学院特命教授)
	レベニューマネジメントと会計	青木章通(専修大学経営学部教授)
	コンサルティング実習に向けて	太田一郎(㈱野村総合研究所コンサルティング事業本部パートナー)
	コンサルティング実習①	同上
	サービス原価企画と会計	岡田幸彦(筑波大学システム情報系准教授)
	コンサルティング実習②	澤邊紀生、太田一郎
	中間報告会	澤邊紀生
11月	コンサルティング実習③	澤邊紀生、太田一郎
	パブリックセクターと会計	目時壮浩(早稲田大学大学院会計研究科准教授)
	コンサルティング実習④	澤邊紀生、太田一郎
	SDGsと会計	木村麻子(関西大学商学部教授)
12月	最終報告会	澤邊紀生

募集要項・費用

募集人数

25名

出願時において、次の①から③のいずれかの資格(または同等の資格・能力)を有し、
尚且つ④から⑥に該当する者(ただし、日本の他大学正規課程に在学中の者は出願できません)

出願資格

- ① 大学を平成30年3月以前に卒業した者
- ② 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により、
学士の学位を平成30年3月以前に授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を平成30年3月以前に修了し、
学士学位を取得した者
- ④ 出願時点で、日本に在住し、企業、団体に経営もしくは勤務している者、
または個人で事業を営む者
- ⑤ 出願時点で、公認会計士、税理士、中小企業診断士の資格を有している者、
またはそれと同等以上の能力を有すると認められる者
- ⑥ 一般社団法人日本経営会計専門家協会の推薦を受けた者

出願期間

令和3年6月4日(金)から同11日(金)午後5時まで(必着)

出願方法／提出先

郵送(窓口での受付は行いません)

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学経営管理大学院
「京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラム」事務局宛

選考方法

書類審査にて行います。

受講者発表

令和3年6月14日(月) *電子メールにて通知します

受講費(教材開発協力費)

110万円(税込)

- *教材開発協力費は一般社団法人日本経営会計専門家協会へ納付となります
- *初めてご参加の事務所には一般社団法人日本経営会計専門家協会への入会をお願いしています
(入会費6万円、月会費1万円)
- *受講に係わる交通宿泊費、懇親会費は受講生ご自身の負担となります
- *初回の講義後および最終報告会後の懇親会(会費1万円程度)は原則全員参加です
- *リーディングマテリアル(必読文献)については基本的に事務局により提供しますが、
一部書籍等については購入をお願いする場合があります

お申し込み先



- *「令和3年度 京都大学上級経営会計専門家(EMBA)プログラムの募集要項等
の請求」とお問い合わせ内容にご入力ください
- *受領後、受講者出願要項、カリキュラム概要、受講希望票をお送りいたします

日本経営会計専門家協会

一般社団法人日本経営会計専門家協会 (<https://www.jimap.jp>)

あんしん経営をサポートする会、一般社団法人コンサル技連、株式会社日本M&Aセンター、
日本M&A協会、株式会社日本BIGネットワーク、株式会社野村総合研究所
株式会社MAP経営、株式会社YKプランニング